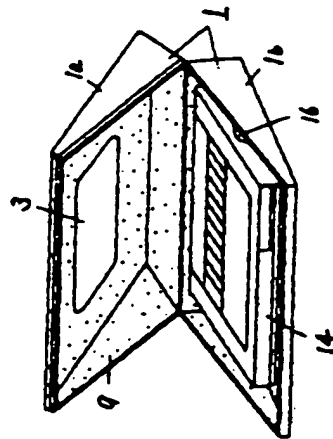


JP 4358869 A
DEC 1992**(54) PACKING CASE FOR PRINTER**

(11) 4-358869 (A) (43) 11.12.1992 (19) JP
(21) Appl. No. 3-134864 (22) 6.6.1991
(71) MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD (72) KAZUMI OTSUBO(3)
(51) Int. Cl.⁶ B41J29/08, B41J29/54, B65D77/26

PURPOSE: To utilize a packing case, and embody a sound-proof case having excellent workability by forming a perforation for division running parallel with a top face and an underside and perforations at positions to paper supply-discharge openings and a window for observing a printing section and previously executing a sound-absorbing material to an internal surface in the packing case.

CONSTITUTION: A division perforation for dividing an upper section 1a and a lower section 1b into two is formed to a printer packing case 1. The division perforation has inclinations to a top face and an underside to the both left and right side faces of the packing case 1, and is formed in parallel to the top face and the underside to a front and a rear. A perforation corresponding to a window 3 for observing the state of printing is formed to the top face, and a transparent or semi-transparent board material is inserted previously on the inside of the perforation, and a perforation for a power cord is shaped. A soundproof material 9 is stuck on the inside of the packing case 1 in order to improve a soundproof effect. Accordingly, the packing case is divided into upper and lower sections after the completion of transport, and utilized as the sound-proof case having excellent workability.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-358869

(43) 公開日 平成4年(1992)12月11日

(51) Int.Cl. ³	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 1 J 29/08	Z	8804-2C		
29/54	A	8804-2C		
B 6 5 D 77/26	P	9145-3E		

審査請求 未請求 請求項の数1(全4頁)

(21) 出願番号 特願平3-134864

(22) 出願日 平成3年(1991)6月6日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 大坪 一三

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 宮園 豊

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 井上 卓見

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人 井理士 小堀治 明 (外2名)

最終頁に続く

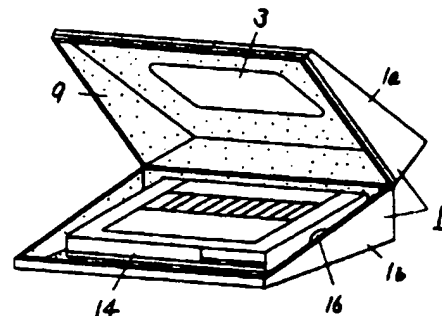
(54) 【発明の名称】 プリンタ梱包箱

(57) 【要約】

【目的】 プリンタ梱包箱を活用して低廉、かつ操作性のよい防音箱とする。

【構成】 梱包箱において、左右両側面には上下面に対して傾斜を有し、前面および背面には上下面に対して平行になる分割用ミシン目と、印字部観察用窓および給排紙口に対応する位置にミシン目を設け、かつ内面に吸音材を施し、上下2分割した後分割した上部の前面側を下部の背面側で回転可能に支持し、防音箱として活用することにより、資源の有効利用とプリンタの操作性をよくする。

1 梱包箱
1a 上部
1b 下部
3 印字部観察用窓
9 吸音材



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 左右両側面には上下面に対して傾斜を有し、前面および背面には上下面に対して平行になる分割用ミシン目と、印字部観察用窓および給排紙口に対応する位置にミシン目を設け、かつ内面に吸音材を施し、上下2分割した後分割した上部の前面側を下部の背面側で回転可能に支持したプリンタ梱包箱。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、印字時に騒音を発生するインパクト方式のプリンタ輸送用梱包箱に関する。

【0002】

【従来の技術】事務所内におけるOA機器からの騒音が作業環境を悪化せしめ、特に、インパクト方式のプリンタは印字時の騒音が大きく、防音箱が必要となっている。

【0003】このようなことから、従来のプリンタ梱包箱を活用した防音箱の作製について、図8および図9を参照しながら説明する。

【0004】図8はプリンタ輸送用の梱包箱で、プリンタ14の外部からの衝撃を緩和するため、梱包箱1の4隅に固定緩衝部材15が入っている。また、梱包箱上部1aには印字観察用窓3があり、さらに梱包箱上部1aおよび梱包箱下部1bには連票記録紙5の給排紙口6に対応する箇所にあらかじめミシン目が施してある。輸送完了後は図9に示すように、固定緩衝部材15を取りはずし、さらに連票記録紙5の給排紙口6のミシン目を切り取り、プリンタ14を箱内にセットするようになる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】このような従来の構成では単票用紙使用時にペーパースタンドを立てるため、梱包箱を大きくする必要があり材料費、輸送費、保管費等のコストアップにつながっていた。また、防音箱の前面、側面が高くなるため操作しづらい等の問題も発生していた。

【0006】本発明は上記問題を解決するもので、プリンタ梱包箱を活用して低廉、かつ操作性のよい防音箱を提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は上記目的を発生するために、梱包箱において、左右両側面には上下面に対して傾斜を有し、前面および背面には上下面に対して平行になる分割用ミシン目と、印字部観察用窓および給排紙口に対応する位置にミシン目を設け、かつ内面に吸音材を施し、上下2分割した後分割した上部の前面側を下部の背面側で回転可能に支持し、防音箱として活用できるようにする。

【0008】

【作用】本発明は上記した構成において、前面が低くな

っているため、単票用紙使用時に前面より単票用紙を挿入するときも操作がしやすくなっている。

【0009】

【実施例】以下本発明のプリンタ梱包箱の一実施例について図1～図6を参照しながら説明する。なお従来例で説明したものと同一構成部材には同一番号を用いる。

【0010】図に示すように、プリンタ梱包箱1には上部1aと下部1bを2分割するための分割ミシン目2が施されている。前記分割ミシン目2は梱包箱1の左右両側面には上下面に対して傾斜を有し、前面および背面には上下面に対して平行に施されている。また上面には印字状態を観察するための窓3に対応するミシン目4を有し、その内側には、あらかじめ透明または半透明の板材がはめ込んであり、輸送完了後、ダンボール材は切り取られるようになっている。また梱包箱1の背面には連票記録紙5の給排紙口6用のミシン目7、電源コード用のミシン目8が施してある。さらに梱包箱1の内側には防音効果を上げるために吸音材9を貼付し、給排紙口、電源コード用や印字状態を観察窓用の切り取り部に対応する部分の吸音材はあらかじめ切り取ってある。

【0011】梱包箱1を分割ミシン目2に従って切り取り上下2分割した後、上部1aの前面側を下部1bの背面側で回転可能に支持させる。図4はペーパースタンド10を立てたときの概略断面図で、単票用紙17使用時にも十分な空間が確保できている。図5は前面から連票記録紙5を挿入する場合で、従来に比べ前面が十分低くなっているため、搬送経路は容易に確保することができる。この場合前面の梱包箱上部に1aと下部1bの合わせ目の連票記録紙5の通路にはスリットを設け、隙間にはフェルト等を当てている。

【0012】梱包箱上部1aと下部1bの合わせ面には、密閉用部材11および12は樹脂の押し出し部材等が考えられる。また、密閉用部材の上部の先端13aもしくは下部の受け面13bに発泡ウレタンやフェルト等のシート（図示せず）を貼付することにより、密閉による防音効果を高めることも考えられる。また、プリンタ14は防音箱の中にそのままセットしてもよいが、輸送中、外部からの衝撃を緩和するために用いられた発泡スチロール等の固定緩衝部材15をプリンタ14の台座として利用することも考えられる。さらに防音箱としての外観を保つために、開梱組み立て後、ダンボールの表面に貼るシートを同封しておくことも考えられる。

【0013】なお、ブラテンノブ16操作時の電・機手を考えると図7に示すような分割ミシン目2も考えられる。

【0014】

【発明の効果】以上の実施例の説明から明らかのように、本発明によれば梱包箱にあらかじめ分割用および切り取り用のミシン目を施し、輸送完了後上下に分割して防音箱として活用することにより、資源の有効利用と

3

リタの操作性をよくすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例のプリンタ梱包箱を活用した防音箱の斜視図

【図2】同、プリンタ梱包箱の斜視図

【図3】同、プリンタ梱包箱を上下2分割した状態の斜視図

【図4】同、ペーパースタンドを立てた状態の概略断面図

【図5】同、フロントインサート時の概略断面図

【図6】同プリンタ梱包箱の上下合わせ部の断面図

【図7】本発明の他の実施例のプリンタ梱包箱の側面図

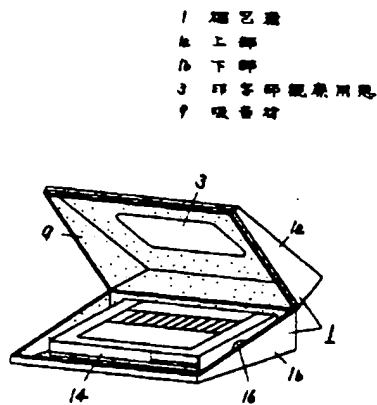
【図8】従来のプリンタ梱包箱の斜視図

【図9】同、プリンタ梱包箱を防音箱とした外観斜視図

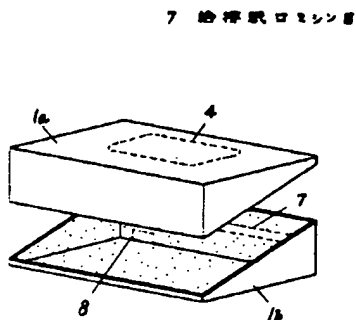
【符号の説明】

- 1 梱包箱
- 1 a 上部
- 1 b 下部
- 2 分割用ミシン目
- 3 印字部観察用窓
- 4 印字部観察用窓ミシン目
- 7 給排紙ロミシン目
- 9 吸音材

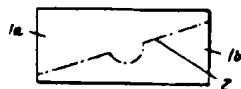
【図1】



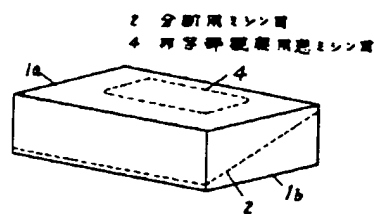
【図3】



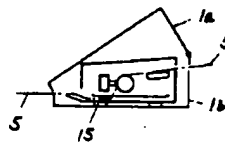
【図7】



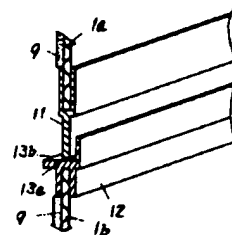
【図2】



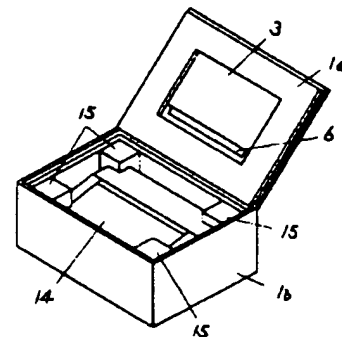
【図5】



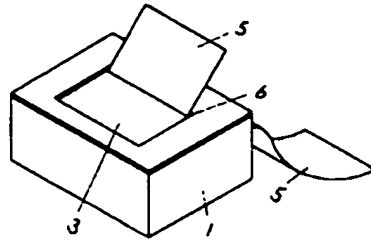
【図6】



【図8】



【図9】



フロントページの続き

(72)発明者 横部 辰哉
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内